

獣による水稻の被害がふえています。獣害を防ぐためには、侵入防止柵の適切な設置・管理が有効です。こまめに点検し、補修をしましょう。

ワイヤーメッシュ編

メッシュの裏表は合ってますか？

イノシシは縦棒を鼻で押し、横棒を噛んで引っ張る傾向にあります。

横棒は農地側に！

農地側

溶接をはずされにくくしましょう

外側

縦棒が外側に

侵入やもぐり込みがあったら

柵を張っても侵入されることがあります。

掘り返して侵入された場合、ワイヤーメッシュの平置きで対応できます。

針金や園芸用の支柱でマス目を小さくします。

約50cm

下はアンカーでおさえましょう

農地側

柵の持ち上げ防止のため、下はアンカーを使って固定します。

外側

メッシュ1枚に3本使用します。

農地側に向かって斜めに差し込みます。

柵の隙間をなくしましょう

柵を重ねて、隙間を無くしましょう。

ケモノはこういった場所は必ず見つけ侵入してきます。

柵の上部を曲げる

10cm程度外側へ

角度は20度~30度

上部30cmほどを外側に折り曲げ「しのび返し」を作ります。曲げすぎると高さがなくなり逆に入られやすくなります。

隙間などは補強しましょう

短管、木、竹などで補強

端材を有効利用

農地側

外側